



アラカルト講座を実施しました

6月15日(水)の5・6時間目、1年次生全員を対象に「アラカルト講座」を実施し、各分野の専門家の先生方9名に講演していただきました。前半・後半で、異なる先生を選び、2つの講座を受講しました。講座の内容は、研究の面白さや勉強する意味、科学倫理の考え方などで、生徒各自の興味のあるものについて学習しました。

アラカルト講座 テーマ・講師一覧

テーマ	講師	所属
南海トラフ地震 ーそのメカニズムと播磨地方への影響	田結庄 良昭 先生	神戸大学 名誉教授
微化石研究と地球環境について	竹村 厚司 先生	兵庫教育大学 非常勤講師(元教授)
なぜ日本に恐竜はいるのか?	柴田 正輝 先生	福井県立大学 恐竜学研究所 准教授
人類は冬眠できるのか?	砂川 玄志郎 先生	理化学研究所 生命機能科学研究センター 上級研究員
難病患者さんの苦しみを減らす方法を探る	森崎 直子 先生	姫路大学 看護学部 教授
免疫反応と医療機器 ～感染を見つける、見分ける技術～	伊藤 美津枝 先生	シスメックス株式会社 技術戦略本部 R&D戦略部 課長
私が「生命倫理」に興味をもったわけ。 学び、考える必要があるのはなぜか	増田 弘治 先生	読売新聞大阪本社京都総局 専任次長(記者)
ちょっと気になる虫と虫ケア用品の話	野村 美治 先生	アース製薬株式会社 研究部 アドバイザー
身近な機能性ガラス	小和田 善之 先生	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 理数系教科マネジメントコース 教授
射影幾何学への入り口	濱中 裕明 先生	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 理数系教科マネジメントコース 教授
良い研究の条件って何だろう	鈴木 美香 先生	京都大学 iPS 細胞研究所 上虞倫理研究部門 特定研究員
四分割の思考法について	森下 直貴 先生	一般社団法人老成学研究所 代表理事・所長
チームで研究を進めるとは(リモート講演)	岸本 直子 先生	摂南大学 理工学部機械工学科 教授



田結庄良昭先生
(神戸大学 名誉教授)



竹村厚司先生
(兵庫教育大学 非常勤講師)



柴田正輝先生
(福井県立大学 准教授)



砂川玄志郎先生
(理化学研究所 上級研究員)



森崎直子先生
(姫路大学 教授)



伊藤美津枝先生
(シスメックス(株) 課長)



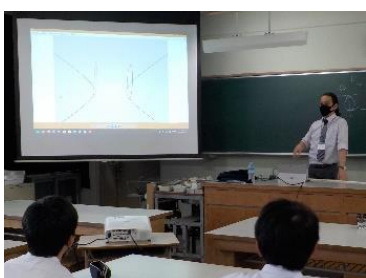
増田弘治先生
(読売新聞大阪本社 専任次長)



野村美治先生
(アース製薬(株) アドバイザー)



小和田善之先生
(兵庫教育大学大学院 教授)



濱中裕明先生
(兵庫教育大学大学院 教授)



鈴木美香先生
(京都大学 IPS 細胞研究所 特定研究員)



森下直貴先生
(老成学研究所 代表理事)



岸本直子先生
(摂南大学 教授)

また、放課後には「サイエンスカフェ」を実施し、カジュアルな雰囲気の中で、大学の先生や研究者の方々と話をしました。参加生徒にとっては、貴重な経験になりました。



(サイエンスカフェの様子)

〔生徒の感想〕

- データから疑問を見つけ、さらにその疑問を解決するためにデータを集め、また疑問を見つける、…と繰り返し取り組むことでテーマについてより深く考えることができるな、と感じた。また難しいと思える問題に出会ったときにも、いろいろな知識を組み合わせたり、チームの皆で協力したりしながら、目的と原因をしっかりと考えて取り組むことで解決につながるんだと思った。これからの探究活動に活かしていきたい。
- 先生方の話には様々な視点があり興味深かったです。その中で発展した技術の扱い方として善と悪の境界線を見つけるべきだと仰っていてなるほどと思いました。何が正しくて何がフェイクなのか、情報が溢れかえった現代を生き抜く鍵を教わったような気がします。